

●ほっと一息、京都であそぼう

# おふたいむ

5

2017 No.199



初夏の美しさを知りたい!

やわらかな若葉が萌える



## 特集 目映い新緑が彩る 初夏の京都

木々が一齐に芽吹き、やわらかな黄緑に塗りかえられる季節、緑豊かな京都には、新緑の美しい隠れた名所がたくさんあります。爽やかなこの季節、電車やバスでアクティブにお出かけしませんか。

### 01 東福寺

とうふくじ

青もみじの海原が広がる

奈良の東大寺と興福寺から一文字ずつとってその名が付けられた東福寺は、言わずと知れた紅葉の名所。そのもみじの葉が芽吹くこの季節にもぜひ訪れたい。境内は高低差があり、青もみじの渓谷・洗玉澗にかかる臥雲橋から見上げれば、柔らかな黄緑の波に通天橋が浮かぶ。作庭家・重森三玲作の本坊庭園も見どころで、苔の緑と白砂のコントラストが目鮮やか。秋ほどの混雑もなく、期間限定の意外な穴場だ。

☎075-561-0087

🕒9時～16時30分(受付は16時まで)

🎫通天橋・開山堂400円、東福寺本坊庭園400円 無なし

📍京都駅前から🚶208・88🚶東福寺下車、徒歩約10分

※88は土曜・休日に運行



青々とした苔が清々しい方丈庭園北庭



秋の紅葉で知られている東福寺ですが、春の新緑も、おすすめです。色鮮やかな緑が一面に広がっています。

(広報主事 永井さん)

### 京都の豆知識

#### 「鴨川納涼床」

鴨川の納涼床といえば、京の夏の風物詩。豊臣秀吉が三条、五条の橋の架け替えを行い、江戸時代には見世物や物売り、茶店で河原が賑わうようになったのが納涼床の始まりという。毎年5月に解禁され、9月いっぱいまで楽しめる。なかでも5月、9月はお昼がおすすめ。

#### ここがおススメ



この時期の東福寺は、人ごみを避けて、さわやかな若葉がゆったりと楽しめます。

(25歳女性 Y.T.さん 上京区)